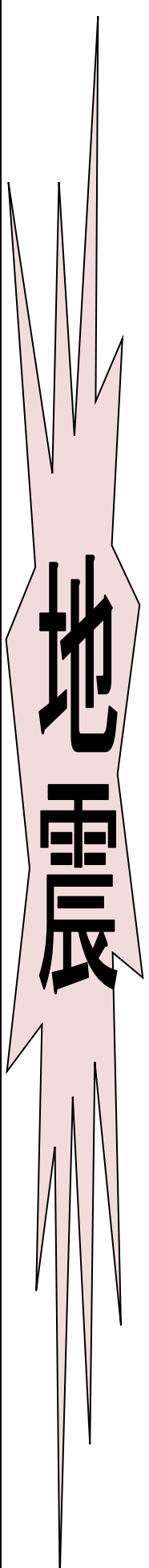


14 大規模地震発生及び大津波警報発生時の権太坂小学校における防災マニュアル

場面	対象	地震発生	安全確保	1次避難	安全確認	予想される二次災害	2次避難	安全確認	情報収集 被害状況把握	保護者へ連絡・引き渡し	防災拠点機能 <学校に留まって いられる場合>
大地震発生・大津波警報発表	校長・副校長 教職員 児童生徒	 地震発生	◎緊急放送で安全確保の指示 ◎テレビ・ラジオ等で地震・津波警報等の確認と最新情報を入手	1次避難場所での避難が危険な場合は、2次避難場所へ 統轄本部設置 ◎校長は、校長室(職員室)で指揮 ・緊急放送で全校避難を指示 ◎副校長は、すぐに校庭へ	◎人数と安否確認 児童生徒→担任→副校長→校長 ①周囲の被害状況の把握 ②二次避難の準備・計画 ③負傷者の確認と手当 ④児童生徒の不安緩和 ⑤病院等の医療機関との連携 <1次避難状況を学校教育事務所に報告>(1次報告:様式2 FAX)	本校は津波の影響を受けないと予想される 校舎倒壊・火災発生等	1次避難を省略した場合は、2次避難場所で1次避難で行うべきことを実施する。 ◎安全な場所への避難指示 被害状況確認と最新情報を入手 ◎人数と安否確認 児童生徒→担任→副校長→校長 ①周囲の被害状況の把握 ②負傷者の確認と手当 ③児童生徒の不安緩和 ④病院等の医療機関との連携 2次避難場所 ①校舎から離れた場所(本校校庭運動砂場側) ②近隣の公園(横浜市児童遊園地)	◎人数と安否確認 児童生徒→担任→副校長→校長 ①周囲の被害状況の把握 ②負傷者の確認と手当 ③児童生徒の不安緩和 ④病院等の医療機関との連携 ◎施設被害状況の把握 ◎危険箇所の立入禁止措置	◎学校教育事務所へ連絡(第1次報告に変更がある場合) ◎区災害対策本部へ連絡 ※防災無線、FAXの活用 ホームページ・電子メール等を活用した情報発信	◎統轄本部で情報収集 ①学校周辺の被害状況 ②公共交通機関等の運行状況 ③通信手段の開通状況 ④保護者への連絡方法の確認 保護者へ連絡 市域のいずれかで震度5強以上を観測した場合は留め置き	◎区災害対策本部との連携 ◎学校教育事務所との連携 ◎防災拠点運営の協力
			◎的確な指示 ①「頭部をまもれ」 ②「机の下にもぐれ」 ③「机の脚をもて」 ④「安心するような声かけ」	◎校庭へ避難誘導 ①出名簿・引き渡しカード・73キー・ホイッスル等の携帯 ②配慮を要する子どもへの対応 ③トイレ、特別教室等に児童生徒が残っていないか確認	災害対策本部設置 救出・救急医療班活動開始 消火・安全点検班活動開始	◎安全な場所へ避難誘導 ◎的確な情報を与え、落ち着くように指示 救出・救急医療班活動継続 消火・安全点検班活動継続	◎役割分担に従って行動 ①学校、地域の被害状況把握(安全な場合は通学路等も...) ②ライフライン、公共交通機関の状況 ③負傷者への対応 ④危険箇所の確認と立入禁止の表示 ⑤不安を訴えている子どもへの対応(養護教諭中心に)	◎引き渡しの手順 ①メール配信による連絡 ②電話による連絡 連絡とれた 連絡とれず、または危険で保護者の引取りが困難な 保護者へ引き渡し 留め置き	地域防災拠点マニュアルに沿って支援開始 ・待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡継続		
			◎揺れがおさまるのを待つ ・机の下にもぐり、落下物から身を守る	◎落ち着いて移動 ・防災頭巾等で頭部を保護しながら上履きそのまま移動 ◎「おかしも」の約束 おさない かけない しやべらない もどらない	◎負傷者がいる場合は助け合う ①勝手な行動をとらない ②私語をつつしむ	◎落ち着いて移動 ①防災頭巾等で頭部を保護しながら上履きそのまま移動 ②教員の指示に従い、急いで集合場所へ移動	◎避難場所で静かに待つ ◎指示に従って、帰宅準備を行う	◎下校 ・保護者への引き渡し ・留め置き	・待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡継続		